

M&A研究会 2008 年度報告書
目次

ご挨拶:岩田所長

はじめに:落合座長

視点:金融および経済危機下におけるわが国企業の M&A 活動(藤岡、事務局)
(現下の状況を踏まえた本年の検討の取りまとめ)

- ・ ファンド機能への不信・失望と再生(2章関連)
- ・ 対外、対内M&Aの重要性(グローバル化対応、海外市場との共生、国内の活性化・・・)(3章関連)
- ・ 国内M&Aの重要性(地域活性化、経営力・ガバナンス・人材の欠如・不足→成長力不足)、「失われた」10年?病、発展の新しい段階へ、新しい時代に向けて従来の規制改革・制度環境の創造を)(4章関連)
- (・ 激しい変化の時代、グローバルな時代を乗り越える人材の育成・創造環境を)

第1章 我が国におけるM&A動向

1. 我が国における最近のM&A動向(丹羽委員の本研究会報告)
※データ一部更新
2. 日本企業の海外企業買収における最近の特徴(西口委員の本研究会報告)

第2章 投資ファンドの動向

はじめに:投資ファンドのあり方と期待される機能(岡委員)

1. 投資会社のM&A動向(吉富小研究会委員の報告)
(補)パイアウト市場の動向(杉浦小研究会委員の報告)
2. 地域における投資ファンドの動向(北村委員の小研究会報告)
3. 投資ファンドの活動と課題
 - (1)投資ファンドの活動(JPE、KKRジャパン、あすかアセットの小研究会報告)
 - (2)投資ファンドの税制(トーマツ 豊田氏ほかの小研究会報告)
 - (3)資本市場からの資金調達(松古委員、岩谷氏の小研究会報告)

第3章 M&Aに関する法的・政策的課題

1. 実務の視点からみた制度・政策に関する諸問題(武井委員の本研究会報告と小研究会報告・議論)
 - ・ 上場会社と資本市場との関係

・IN-OUT 関連の問題

・海外法制関連の問題 など

2. 第三者割当制度の課題(大杉委員、田中委員)

(1) 第三者割当における問題点とその対応方向

(大杉委員の本研究会、小研究会報告等)

(2) 米国における私募集によるエクイティ・ファイナンスの現状

(田中委員の小研究会報告等)

3. 諸外国における外資規制(寺浦弁護士の小研究会報告等)

(1) アメリカ

(2) イギリス

(3) ドイツ

(4) フランス

第4章 地域活性化とM&A(本年度までの議論のまとめ、藤岡)

1. 地域活性化にM&Aの考え方を

2. 地域におけるM&A活動概況

3. 地域の金融機関の取組み

4. 地域における事業再生・再編とファンドの機能

5. 地域におけるM&A活動上の課題

6. 地域活性化に向けての具体的提案

第5章 企業価値とM&A統計分析(桑原小研究会委員の報告、事務局)

1. 企業価値の分析手法

2. 分析結果

3. 分析から得られた示唆と課題等